

就労支援における個別評価表及び評価項目の検討 2

— 発達障害者の就職意欲及び就労支援者の総合評価と各種評価項目の関連について —

○酒井 基行 松井 宏昭

(社会福祉法人青葉会)

KEYWORDS: 発達障害、就労支援、評価項目

【目的】

近年、厚生労働省から発達障害者の就労支援に関する施策が打ち出されているものの、発達障害者を一般就労へつなげるための個別評価が整理できていないとは言えず、一般就労に対する評価項目を整備することが課題であると考えられる。そこで本研究では、発達障害者の利用が多い千葉県柏市にある就労移行支援事業所（以下、「事業所A」という。）で使用している個別評価表と発達障害者に対する評価データを用いて、就労支援尺度を作成することを主たる目的とする。今回は、昨年度の重回帰分析に引き続き、発達障害者の就職意欲や就労支援者の総合評価と各種評価項目との関連を因子分析により評価する。

【方法】

学会等にて発表することを対象者に説明するとともに、対象者の同意と協力が得られるように、調査の目的・内容を説明し、対象者とそのデータに関する秘密保持の方法（個人名・プライベートな情報の保護）に配慮した。調査対象は、平成25年1月～4月に事業所Aに所属していた利用者（男性35人、女性24人）とした。

評価項目と分析方法

評価項目は、通所回数、不調時の対処、自己統制/気分転換、身だしなみ、挨拶/言葉遣い、意欲的、明るさ/さわやかさ、素直さ/誠実さ、報連相、集中力、指示理解力、信頼性、就職意欲、実習への参加意欲、作業スピード、手先の器用さ、完成品のチェック、道具の使用、文字入力、Word操作能力、Excel操作能力、実務能力、総合得点の23項目とし、このうち本人の「就職意欲」及び事業所Aの「総合得点」を除く21項目の評定点（1点～5点）を変数として、因子分析（主因子法、バリマックス回転）を行った。データの解析には統計処理ソフトSPSS21.0J（日本アイ・ビー・エム株式会社製）を用いた。

【結果及び考察】

因子分析を行った結果、固有値1以上の因子が4つ認められたが、スクリー基準から3因子を仮定して因子分析を行った（表1）。累積寄与率は、75.7%であった。

因子負荷量0.40以上を基準とした場合、第1因子は「ExcelやWordの操作能力」や「文字入力」、「事務能力」、「器用さ」などの9項目で構成されており、スキルに関連した項目群と言えることから、「仕事スキル」の因子と命名した。

続く第2因子は8項目で構成されており、「不調時の対応」、「自己統制」、「意欲的」、「集中力」、「明るさ」などの項目が高い正の負荷量を示した。仕事に対する他者からの印象を表している項目群と言えることから、「前向きさ」の因子と命名した。

第3因子は4項目で構成されており、「身だしなみ」や「言葉遣い」などといった項目が高い正の負荷量を示しており、第2因子と同じように印象に関わる項目群ではあるが、ビジネスマナーに関したものが多く、「マナー」の因子と命名した。

以上のような因子分析結果を踏まえ、 α 係数を用いて各下位尺度の内部一貫性を検討したところ、「仕事スキル」は0.962、「前向きさ」は0.940、「マナー」は0.847であり、十分な内部一貫性を有することが知られた。

次に、因子分析により抽出された「仕事スキル」、「前向きさ」、「マナー」の下位尺度得点と、因子分析の際に除外

した「利用者の就職意欲」、「就労支援者からみた総合評価」という利用者及び支援者の就労に対する直接的な評価を示す2つの項目の相互相関を表2及び表3に示す。「利用者の就職意欲」と「就労支援者からみた総合評価」はともに因子分析により抽出された「仕事スキル」、「前向きさ」、「マナー」の3つのいずれの因子との間でも有意な相関を示した。この結果は、利用者にとっても支援者にとっても、就労を進めるうえでの重要な参考情報の一つになると考えられる。

表1 因子分析の結果

	f1	f2	f3	共通性
Excel 操作能力	.914	.018	.246	.896
文字入力	.895	.234	.102	.866
Word 操作能力	.894	.110	.197	.851
実務能力	.862	.337	.073	.863
道具が使える	.755	.340	.441	.881
器用さ	.662	.271	.454	.717
チェック	.638	.336	.499	.769
作業スピード	.632	.680	.139	.881
報連相	.537	.344	.597	.763
不調時	.274	.874	.059	.843
自己統制	.304	.858	.176	.859
意欲的	.091	.833	.405	.865
集中力	.286	.830	.179	.803
明るさ	.037	.828	.395	.843
通所	.050	.658	-.052	.439
実習参加意欲	.194	.608	.422	.585
誠実さ	.341	.551	.413	.590
身だしなみ	.076	.112	.807	.670
言葉遣い	.155	.280	.801	.744
信頼性	.445	.162	.769	.816
指示理解力	.378	.056	.462	.360
寄与率 (%)	6.069	5.857	3.976	
累積寄与率 (%)	28.901	56.792	75.724	

表2 就労に関する評価各下位尺度得点の就職意欲による比較

	就職意欲あり群		就職意欲なし群		t 値
	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	
仕事スキル	21.184	10.840	14.289	3.440	2.111*
前向きさ	25.789	7.556	19.000	8.068	3.226**
マナー	14.289	3.440	12.143	4.651	2.020*

* $p<.05$, ** $p<.01$ 自由度はいずれも 57

表3 就労に関する評価各下位尺度得点の総合評価による比較

	支援者評価高い群		支援者評価低い群		t 値
	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	
仕事スキル	24.844	9.589	12.333	4.197	5.782**
前向きさ	29.313	3.257	16.333	6.912	9.461**
マナー	14.938	3.026	11.852	4.426	3.165*

* $p<.05$, ** $p<.01$ 自由度はいずれも 57